

Lesson 14 「国風文化と日本語」

～ Logical - 通史理解「日本史探究」疾風 Watabe 塾 ～

【東アジア諸国の変動と日本】

①東アジアの変動

- 内乱により唐が衰退し、907年に滅亡
→ 五代十国の時代を経て960年〔1〕が中国を統一
- 中国北東部では渤海が926年に遼（契丹）の侵入により滅亡
- 朝鮮半島では936年に〔2〕が新羅を滅ぼし朝鮮を統一

②遣唐使停止後の外交関係

- 894年〔3〕…遣唐大使に任ぜられていた…の建議により〔4〕停止
→ 以後、朝廷は公的な外交使節は派遣せず、消極的な外交態度をとる
- 遣唐使停止後も外国商船は頻繁に来航（博多湾）
→ 貿易品は唐物として珍重され、奄然・成尋らの僧は宋に渡航

【国風文化の形成】

①国風文化の性格

- 大陸文化と日本文化の融合により、優美で繊細な貴族文化が誕生
→ 10世紀～11世紀半ばの文化を〔5〕とよぶ
- 〔6〕の定着により、日本人の感覚や感情の表現が可能となる

②国文学の発達

- 和歌…9世紀後半に**六歌仙**が登場し、漢詩文とならぶ地位を確立
→〔7〕を**紀貫之**らが編纂、以降の勅撰和歌集＝**八代集**
- 物語文学…『竹取物語』『伊勢物語』『宇津保物語』『落窪物語』などが登場
→藤原道長の時代に**紫式部**が〔8〕を執筆
- 随筆…藤原道長の時代に**清少納言**が〔9〕を執筆
- 日記文学…**紀貫之**が〔10〕で仮名使用の「日記」を執筆
→以降、『蜻蛉日記』『紫式部日記』『和泉式部日記』『更級日記』などが登場
- 書道…和様の書風を得意とする**小野道風・藤原佐理・藤原行成**の3人は〔11〕とされる

③建築と調度品

- 檜皮葺・白木造による〔12〕の住宅建築が定着
- 屏風や襖障子には、〔13〕らの手による**大和絵**が描かれる
- 調度品には漆で文様を描き、金粉などを用いた〔14〕の手法が流行

【仏教の浸透】

①浄土教の流行

- 1052年より末法の世となる思想＝〔15〕が登場
→極楽往生を願う〔16〕が流行…浄土信仰の強まり
＜阿弥陀如来信仰＞
- 10世紀なかごろには、京都市中で〔17〕が布教活動
- 985年には〔18〕が『往生要集』を著す
- 往生伝**も成立…『日本往生極楽記』…〔19〕
『拾遺往生伝』…〔20〕

②浄土教と仏教芸術

- 浄土教の影響で多くの阿弥陀堂が創建される
→**藤原道長**…〔21〕
藤原頼通…〔22〕**鳳凰堂**〕
- 阿弥陀堂の本尊として**阿弥陀如来像**が多数作製
→仏師〔23〕が〔24〕の技法を完成させ、
仏像制作の大量需要にこたえる
- 阿弥陀仏**が地上に迎えにくる様子を描いた〔25〕も盛行

③さまざまな信仰

- ケガレの観念が肥大化し、死や出産・血を忌む思想が広まる
- 〔26〕が広まり、北野神社や祇園社で御霊会が開催
- 〔27〕が盛んになり、**物忌**や**方違**などがおこなわれる
→陰陽師〔28〕の活躍…政治にも深く関与

【貴族・民衆の生活】

①貴族の生活

- 正装：男性＝〔29〕
女性＝**女房装束**＝〔30〕
- 普段着：男性は直衣・狩衣、女性は小袷・袴を着用
- 食事：一日二食、米を常食とし、ケガレ観の影響で肉食の禁忌化が進行
- 成人式：12～16歳ごろに、男子＝〔31〕、女子＝裳着
- さまざまな〔32〕が発達～1年間を通じて～
→新嘗祭・大祓・賀茂祭・祇園御霊会（神事）
灌仏・盂蘭盆会（仏事）
ひな祭・〔33〕・相撲（遊興）
節会・叙位・除目（政務）など

②民衆の生活

- 衣服：男性は水干や上衣に小袴、女性は小袖に腰衣を着用
- 食事：一日二食、米・麦・粟・稗・蕎麦・粟などを常食